

暮らし 手しごと 出会う

# くらしずく

KURASHIZUKU

2024 10/19(土) 20(日)

会場 **九十九里の杜** [Sghr菅原工芸硝子工房敷地内] **2days開催!**

『くらしずく』は2024年開催に向け、出店して下さるつくり手の方々を広く公募いたします。

わたしたちは、「長く使える、手しごとと出会える場」

「つくり手とつかい手がつながる場」「心地良い買い物体験できる場」をめざしています。

ぜひ私たちと一緒に、新しいマーケットをつくり、育てていきましょう!

## 開催概要

日 時	2024年10月19日(土)10:00~16:00 / 20日(日)10:00~15:30 (雨天決行、荒天中止)
会 場	菅原工芸硝子株式会社 (千葉県山武郡九十九里町藤下797)の敷地内
内 容	クラフト部門 約65枠 / ワークショップ部門 約5枠 / フード、マルシェ部門 約30枠
主 催	くらしずく実行委員会
共 催	菅原工芸硝子株式会社
来場者数	2日間で5,000人程度を見込んでいます。

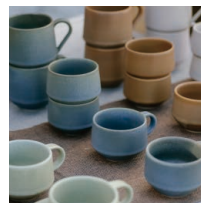
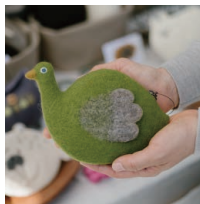
『くらしずく』の会場は、共催である、菅原工芸硝子株式会社の敷地にておこなわれます。

真摯に手仕事に向き合い、暮らしを彩る数多のガラスを生み出してきたこの地が、新たなものづくりの物語の舞台となります。

## ▼ 会場の菅原工芸硝子敷地



## ▼ 過去開催の出店者の方々の作品



## 募集について

クラフト部門、ワークショップ部門の出店者を公募します（フード、マルシェ部門の募集はありません）

- 募集対象：オリジナル作品（ガラス、陶磁、染織、木工・漆、皮革、金属、服飾、装身具、他）を制作し、プロとして、およびプロを目指して活動されている方。

## 募集枠

クラフト部門 約65 枠

ワークショップ部門 約5 枠

- 応募方法：「応募フォーム」に必要事項を記入し、写真とともに送信してください。

受付開始 2024年4月1日（月）10:00

応募締切 2024年4月30日（火）24:00

応募  
フォームは  
こちら



## 選考について

- 選考結果 2024年6月1日にメールにてご連絡いたします。
- 選考は、くらしづく実行委員にて行います。
- 選考結果についてのお問い合わせにはお答えできません。クラフトイベントとしてのバランス、構成を考慮したうえで選出します。

## 出店料について

クラフト部門 20,000円／2日 ひと区画（3m×3m）あたり

ワークショップ部門 売上10% ※ワークショップ+物販の売上

## 展示備品について

- 出店に必要な備品等は各自ご用意ください。
- 希望者には有料にて、テント、テーブルをレンタルいたします。



- 白テント（フルサポート）・24,000円/2日 内容：白テント2.5×2.5m  
（スタッフによる設営・撤去収納、夜間目隠し用白シート、雨天時雨よけ透明ビニール設置込み）
- 白テント（セルフ）6,000円/2日 内容：白テント2.5×2.5m  
（設置・撤去収納は出店者各自。目隠し用白シート付。雨よけビニールは別途3,000円）



- クラフト出店に使用するテーブル・1台につき2,000円/2日  
内容：木製テーブル（集成材天板）W1200×D700×H730mm

- ワークショップに使用するテント、テーブル、机は主催者が用意いたします（無料）

## 応募から開催までのスケジュール

4月 1日	出店応募 受付開始
4月 30日	出店応募締め切り
5月 下旬	出店者選考
6月 1日	選考結果通知、備品レンタルの申し込み開始
6月 中旬	出店費用のご連絡
6月 30日	出店費用振込期日
7月 上旬	出店者発表 (web サイト、SNS)、PRおよび集客広報スタート
7月 下旬	出店者名の入ったフライヤー作成、各出店者に送付。
7月 下旬	出店者紹介掲載 (web サイト)
8月 上旬	搬入に関するアンケート実施
8月 下旬	会場レイアウト、出店場所決定 出店者紹介 (SNS) スタート
9月 上旬	ワークショップ予約受付開始
10月 上旬	搬入／搬出に関する詳細連絡、まかない予約受付
10月 18日	前日搬入
10月 19日	当日搬入 イベント当日
10月 20日	イベント当日 搬出は 15:30 以降となります

## 過去開催の様子

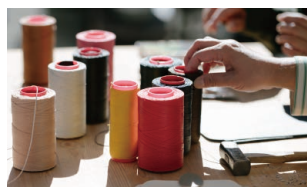
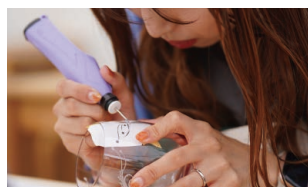
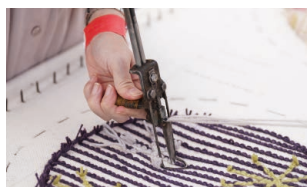
▶ ゆったりとした雰囲気の中、2日間にわたって、お客様とふれあいながら出店していただきました





## 出店条件（クラフト部門、ワークショップ部門共通）

- 2日間の会期中、出店者ご本人による屋外での展示・販売、および搬出入が可能な方。
- 展示および販売する作品は、必ず出店者本人のオリジナル作品であること。
- 販売時、購入者へ連絡先の記載がある物（ショップカードや領収書など）を渡し、後日購入者から連絡があった場合には、欠品・不良品・アフターサービスなどの対応ができる方。
- ひと区画の出店作家は2名までとなります。
- 既製品、輸入品、仕入れ品、リサイクル品による出店は固くお断りいたします。発覚した場合は、退場していただきます。
- 「真似・類似・盗作・一部流用」による著作権、肖像権などについては、ご自覚ある販売をしてください。
- 手芸教室・サークル等の発表の場としての出店はできません。
- 一部または全部の作品を特価やサービス価格などで表示して販売することはご遠慮ください。
- 会場は屋外で、雨天決行とします。各自で雨対策をお願いします。  
※ ただし、当日が台風などの悪天候でやむを得ず中止の場合は、前日または当日に事前に通知します。
- 出店ブースの配置は主催者が指定いたします。
- 開催期間途中での閉店をご遠慮下さい。やむを得ず遅れや早仕舞をされる方は、必ず事前にご相談ください。
- 出店場所付近はバックヤードの確保がほぼできません。既定の区画内をお願いします。
- 初日終了後の作品保管は、テントの周囲をシート等で囲い侵入ができないようにする、飛ばないようにテントを低くする等の防犯、強風等の対策は各自おこなってください。
- 会場、駐車場の盗難、事故、火災、汚損、破損、搬入車とのトラブル等について、主催者は一切責任を負いません。
- 自然災害・伝染病など不可抗力の理由により全日中止の場合、出店料の返金はできません。ただし、出店の権利は次回に引き継がれ、一日あたり2,000円を次回の出店料の一部として充当します。
- 応募フォームに記入し、申し込みをされた方においては、募集要項全内容を了承したものとします。



## 出店条件（ワークショップ部門）

- 野外テントでの開催です。
- ワークショップのスペースは1区画3m×3mとし、内容に応じて、2区画分つなげることも可能です。
- ワークショップのテント内で、ご自身の作品も販売いただけます。ただし、ワークショップの進行の妨げにならないよう、ご配慮ください（必要に応じて販売スタッフを手配してください）。
- 受講者の募集は、基本的に予約制（事前決済）とし、開催の1～2ヶ月前よりくらしずくのwebサイト上で行います。受講者情報は主催者が一元管理します。  
受講者数の制限がなく、当日受付の方がふさわしい場合には、受付および受講費の受取は各自で行っていただけます。
- ワークショップの進行は各自で行ってください。開始時間、終了時間は時間厳守をお願いします。
- ワークショップは、プログラムの構成上、一日のみの出店になる場合もございます。選考時に希望日のご希望をうかがったうえで、最終的には主催者が判断します。
- ワークショップで制作した作品が後日渡しとなる場合、受講者への発送は各自の責任で行ってください。
- ワークショップ開催中もテント内にはお客様の出入りがあります。見学される方もいることをご承知おきください。
- プロモーションのために取材のご協力をお願いする場合があります。

ごあいさつ

---

くらしづくは、お客様が「ながくつかう」作品に出会う為の場にしていきたいと考えています。

じっくり、作品と向き合い、作家と語り、想いが繋がった作品を手にかかるとして頂きたい。

会場に赴き、作家との会話や空気に触れる体験を通じてお客様それぞれの心の中にストーリーを作っていく。

その事自体が、お客様の「ながくつかう」に繋がる道筋ではないかと思えます。

今後もくらしづくは、モノを買うお客様を増やし続ける事だけでなく、「作家とのストーリーを紡ぎに訪れる」お客様を増やせていけたらと考えています。

そんな思いを実現するには、今後も皆様のお力添えが必要です。

皆さまと繋がりましたご縁に心より感謝申し上げますとともに、ご支援・ご協力、そして親交を賜ればと思います。

くらしづく実行委員会（主催）

阿部 純、加藤良介、白石由美子、菅原加代子、菅原裕輔、富安恵子、松下貴昭、水野俊弥、三星千絵、宮原菜々子  
(五十音順)

---

Sghr スガハラの工房を構える千葉・九十九里。

そこは房総半島に広がる緑と水の大地、そのほぼ真ん中に位置します。

私たちは、この地で63年にわたり、ガラスのうつわづくりに向かい合っています。

ガラスを通じて、作り手から使い手まで、関わる全ての人たちが、

穏やかにほほ笑むような時間をお届けしたい。

そんな思いをこめて、丁寧に、真摯に、日々活動をしています。

2017年、ものづくりの物語が伝わるようなマーケットを開催したいという想いに共感し、

「くらしづく」はスタートしました。

作り手と使い手が心をかよわせるシーンに沢山出会うことができ、このマーケットをやってよかったと心から思い、また更に深化させていきたいと思うようになりました。

皆さまの作品が、多くの使い手の皆さんの元で、

暮らしの中に、作り手の想いととも永く溶け込んでいくことを願っています。

「くらしづく」が、素敵な出会いの場になれば幸いです。

菅原工芸硝子株式会社（共催）

代表取締役 菅原 裕輔

